

関西から

文化力
Wakayama Culture and Arts

和歌山県文化情報誌 ワカピー

WAKAYAMA

2013年
3月号

Vol. 48

Wakayama Culture and Arts **POWER**

Contents

- アーティストメッセージ…2
- 和歌山県名匠表彰受賞者…3
- イベントガイド…4・5
- 和歌山癒しの電車紀行…6
- 大好き和歌山…7
- カルチャーインフォメーション…8

【和歌山癒しの電車紀行】

万葉の地を行くのんびり列車

【JR西日本／和歌山線（西笠田駅）】

JR和歌山線は和歌山県と奈良県を結ぶローカル線。地域密着の交通機関として愛されているほか、悠久の歴史をイメージするラッピング電車で観光客を出迎えています。

artist message

アーティスト メッセージ

円熟したモーツァルトの世界観を披露 ピアニスト杉谷昭子さんが登場

和歌山市出身のピアニストの杉谷昭子さん。東京都在住でありながら、ラジオ出演やレッスンなどで積極的に帰省。3月30日(土)開催の「和歌山県民文化会館リニューアル・オープン記念コンサート」では、大ホールで演奏していただきます。そんな杉谷さんに、コンサートへの意気込みをお聞きしました。

Q 3月30日(土)に開催される「和歌山県民文化会館リニューアル・オープン記念コンサート」。和歌山での演奏は久しぶりですか？

A ミニコンサートや発表会を加えれば、そんなに久しぶりでもないのですよ。月に一度は、ラジオ収録やレッスンで和歌山に帰ってきています。ただ和歌山県民文化会館がリニューアルして会場が開かれるのは2年ぶりであり、私としても同会場は久々ですね。和歌山出身のアーティストとしてリニューアル後初の舞台を踏めることは大変光栄でもあり、県内では最大のホールのうえ、音の響きも良く、演奏者としても心地いいものですから、今から楽しみにしています。

Q コンサートの見どころや意気込みのほどはいかがですか？

A 今回のコンサートでは、モーツァルトの「ピアノ協奏曲第23番イ長調K.488」を皆様にお届けしたいと思います。長年、ドイツを中心に活動してきて、若い頃はドイツのピアノ音楽の神髄を継承するために、モーツァルトはもちろんベートーヴェン

やシューベルトなど、多くの楽曲に触れ、神経の行き届いた技術的アプローチだけでなく、その精神性を追い求めてきました。その中で最近特に意識しだしたのが、モーツァルトです。良い意味で、若い頃は無邪気に弾けた楽曲(笑)。しかし年齢を重ね、キャリアを重ねた今、改めて向き合うと若い頃とは違う世界観を感じることもあるのです。

Q 今思うモーツァルトの魅力とは？

A もともとモーツァルトの楽曲は、一つ一つに無駄がなく、完成度の高いものです。若い頃は素直に、譜面のままを弾き込んでいたのですが、ある時、その中にある世界観に気がきました。特に第2楽章は、静かな中に苦しみや悲しみなど、非常に陰影に富んだ色彩を持っています。天才がゆえの孤独が生み出した光と影。今、古希を迎えたこの年齢で弾ける喜びに感謝し、

円熟したモーツァルトの世界をお届けしたいと思います。

Q 和歌山のファンの皆様方にメッセージをお願いします。

A 故郷和歌山でのコンサートは、どんな時でも特別な思いがあります。ただいつも、足を運んでくれるお客様方には、日常とは少し異なる時間の中で、心揺さぶる感動を、音楽を通して伝えていきたいと考えています。幸せを感じる瞬間と一緒に共有できればと…コンサートでお会いできるのを楽しみにしています！

写真・木之下晃



Profile

ピアニスト
杉谷昭子さん
すぎたにしょうこ



和歌山市出身。東京芸術大学卒業後、ドイツに留学。旧西独演奏家国家試験を最優秀で合格。卒業後、ドイツを拠点にヨーロッパで活躍。著名なオーケストラや弦楽四重奏団との共演。さらにディスコグラフィーでは女流で世界初となる「ブラームス：ピアノ独奏曲全集」と「ベートーヴェン：ピアノ協奏曲全集」を発表。またドイツでの「クララ・シューマン国際ピアノコンクール」では審査員を務めるなど、国際的にも高く評価された日本を代表するピアニストのひとりです。平成17年度和歌山県文化賞受賞。

3/30

平成24年度文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業

和歌山県民文化会館リニューアル・オープン記念コンサート

■出演／プログラム

杉谷昭子(ピアノ)／モーツァルト：ピアノ協奏曲第23番
木乃下真市(津軽三味線)／和田 薫：津軽三味線とオーケストラのための「絃響」
和歌山児童合唱団／松下 耕：紀の国のこどもうたより
寺岡清高(指揮)、大阪交響楽団

ゲスト 岡本 玲(女優、わかやまパンダ大使)

他のリニューアルオープン記念イベントはP4イベントガイドをご覧ください。

■開演／午後3時(開場午後2時)

■場所／和歌山県民文化会館大ホール

■入場料／無料(整理券)配布中

■主催／和歌山県、和歌山県地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業実行委員会

■お問い合わせ／和歌山県地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業実行委員会
(県庁 文化国際課内) TEL.073-441-2050





和歌山県名匠表彰とは、伝統ある貴重な工芸品または生活用品の製作等の技能を保持し、地域社会における技術文化の向上発展に顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。



平成23年度 和歌山県名匠



表具師

村木弘育(むらきひろやす)さん

昭和18年生まれ、高野町出身・在住。18歳で表具師であった父に師事。4代目として生まれ育った高野山で表具師の修業を続けます。以来、半世紀以上にわたり表具一筋に研鑽。金剛峯寺庫裡大広間襖の修復と仕立て直し、奥の院山水屏風の仕立て直しなど数多くの文化財の修復と保存に務め山内で活躍。確かな技術と経験が高く評価される名匠の一人です。



平成23年度の和歌山県名匠に選ばれた村木弘育さん(70歳)の表具師として思いは、常に「後世に残す」という信念。50年以上も表具一筋に携わり、生まれ育った高野山でその技と経験を生かし、数多くの貴重な文化財を守り続けてきました。そもそも表具とは、日本家屋には当たり前のようにしてある建具のいろいろ。襖や屏風のほか、床の間の掛け軸や額などもそれにあたり、布や紙を張ることによって仕立てられています。村木さんはその表具の修復師であり、仕

立て職人。師であり父である先代の康悦さんも、93歳まで現役を貫いた名工。その技術は4代目の弘育さんにしっかりと受け継がれています。

「1200年にもわたる長い歴史の中で高野山が育ててきた日本の宝ともいえる文化財の数々。火災が多かった昔は、持ち運べる表具類を火から守り、今も寺の貴重な財産として代々伝えていきます。高野山にはそうやって先人たちが命がけで守った文化財がまだまだたくさん眠っています。それを後世に届けるのが私の仕事です」と村木さん。表具は仏教伝来と共に日本に伝わる伝統文化。中でもお寺や神社とは切り離せない密接な関わり合いがあり、襖の新調や張り替え、障子張りのほか、掛け軸や屏風、衝立、額、巻物などの表装や修復も、

表具師が手掛けています。

金剛峯寺庫裡大広間襖の修復と仕立て直し、同じく金剛峯寺伽藍内金堂十二天六曲屏風の仕立て直し、奥の院山水屏風の仕立て直し、遍照光院庫裡古画襖、床、壁面の修復や仕立て直しなど、山内には村木さんの手掛けた文化財がいっぱい。「技術は1に設計、2に材料。どんなに腕があっても材料が良くなければ、時代を越えることはできません。材料には泥を施し、丈夫で長持ちし、しかも燃えにくい手すきの“間似合紙”や“薄美濃紙”など、古くから用いられている素材にこだわっています。高野山は特に湿気が多い環境なので、その分も考慮し、寒暖の激しい四季の変化に耐えられるよう技術を注ぎ込んでいます」。また職人として仕上がりを左右するのは、技と心意気のバランスも大きいと村木さんは言います。「あるがままを気取りなく、技も心も五分五分がベスト。自然のままを受け入れることが最大の力となるのです」。



村木さんは、作品には作家の思いを読み解き、鑑賞作品として完成させます

3/9

平成24年度文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業

和歌山県 心の復興プロジェクト

鼓童交流公演

■開演/午後2時開演(開場午後1時30分)

※ただし、優先チケットをお持ちの方は午後1時からご入場できます。

■場所/那智勝浦町体育文化会館(那智勝浦町天満441-8)

■入場料/大人2,000円、小人1,000円 ◇優先チケットは先着500枚のみ

※小人料金は、5歳~高校生対象

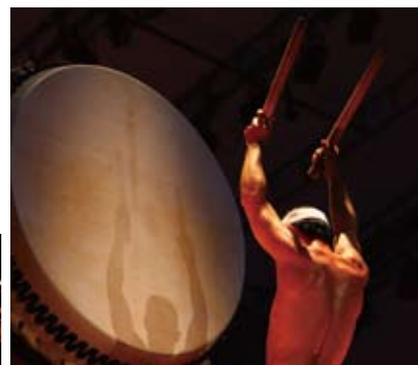
※5歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。

■主催/和歌山県、和歌山県地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業実行委員会

■後援/那智勝浦町、那智勝浦町教育委員会

■お問い合わせ/和歌山県地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業実行委員会(和歌山県庁 文化国際課内)

TEL.073-441-2050



和歌山県民文化会館リニューアル・オープン 記念イベント

和歌山県民文化会館では、平成23年4月から耐震化工事のため休館していましたが、4月1日(月)にリニューアル・オープンします。これを記念したイベントを開催いたしますので皆様お誘い合わせの上、ご来館ください。

大ホール 記念コンサート

- 開催日/3月30日(土)
- 時間/開演15:00(開場14:00)
- 入場無料、要入場整理券
※整理券は1枚につき1名様です。(6歳未満のお子様の入場はご遠慮ください)
※当日正午より大ホール入口で座席指定席と引換を行います。入場までに必ず引き換えてください
- 出演/杉谷昭子(ピアノ)
木乃下真市(津軽三味線)
和歌山児童合唱団
寺岡清高(指揮)、大阪交響楽団
ゲスト:岡本 玲(女優・わかやまパング大使)

プログラム/モーツァルト:ピアノ協奏曲第23番
和田 薫:津軽三味線とオーケストラのための"絃魂"
松下 耕:紀の国のこどもうたより
チャイコフスキー:祝典序曲「1812年」
ドヴォルザーク:交響曲第9番 第4楽章
※都合により内容の一部、曲目を変更する場合がありますのでご了承ください



杉谷昭子



木乃下真市



寺岡清高

©飯島 隆



岡本 玲



和歌山児童合唱団

展示室 清水達三 日本画展



日本藝術院会員 清水達三画伯

- 開催日/3月30日(土)~4月3日(水)
- 会場/和歌山県民文化会館 展示室
- 開館/10:00~17:00(最終日は16:00まで)
- 料金/無料

本県で初めて公開される「翠響」(日本藝術院所蔵)をはじめとする37作品を一挙に展示

翠響(日本藝術院所蔵)

小ホール 映画上映&トークショー



東 陽一監督

- 開催日/3月30日(土)
- 会場/和歌山県民文化会館 小ホール
- 時間/13:00~東陽一監督トークショー
14:00~「絵の中のぼくの村」
16:15~「わたしのグランパ」
- 料金/500円(1日券)



SABU監督

- 開催日/3月31日(日)
- 会場/和歌山県民文化会館 小ホール
- 時間/13:00~SABU監督トークショー
14:00~「うさぎドロップ」
16:15~「ポストマンブルース」
- 料金/500円(1日券)

大会議室 まんが家スペシャルインタビュー

- 入場無料、要入場整理券、各先着100名
- 両日とも、特別展示室にて田村由美先生と助野嘉昭先生の複製原画展&アニメの上映があります



- 開催日/3月30日(土)
- 時間/14:00~
- 田村由美先生
「BASARA」、「7SEEDS」、
「猫mix」奇譚とらじ」他

田村由美先生サイン会

インタビュー終了後、抽選で50名様限定(入場整理券の半券が抽選券になります)

「7SEEDS」
©田村由美/小学館 フラワーコミックスα



- 開催日/3月31日(日)
- 時間/14:00~
- 助野嘉昭先生
「貧乏神が!」(集英社・ジャンプSQ連載中)
「帰ってください!」(第71回手塚賞入選作)他

©助野嘉昭/集英社

- 主催/和歌山県、和歌山県地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業実行委員会
- お問い合わせ/和歌山県地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業実行委員会(和歌山県庁 文化国際課内)

TEL073-441-2050



和歌山県民文化会館 リニューアルオープン!!



大ホールのホワイエはぬくもりのある開放感が特徴的

和歌山県の文化芸術活動の 場の新たな幕開け!

「和歌山県民文化会館」が、装いも新たにリニューアルオープンします。待ちに待った再開は4月1日(月)。昭和45年の開館以来、同館は40年余にわたり県内最大の文化施設として、文化発信の礎を支えてきました。今回のリニューアルは、施設の長寿命化と利用者の安全性、利便性を図るため、耐震補強をはじめ太陽光発電の導入、バリアフリー対策、小ホール客席改修、展示ス

ペースの増設、貸会議室(23室)のインターネット環境の整備等を行いました。

皆様をお迎えするロビーやウェルカムホールには、紀州材をふんだんに利用し、熊野地域をイメージした木の温もりと、吹き抜けの心地よい開放感で、文化芸術をより豊かに楽しんで頂く快適空間を演出しています。

来たる、3月30日(土)、31日(日)にはリニューアル・オープン記念イベント(詳細はP4)を開催し、和歌山県の文化芸術活動の場が新たに幕開けします。

ぜひ、ご家族おそろいで、素敵な週末をお楽しみください。



小ホールはゆったりとした座席に改修



3~6階の会議室を一新



スロープの新設でバリアフリーを実現(展示室)



外壁も全面改修



シースルーエレベーターを設置



太陽光発電の導入を見える形で表示



耐震補強を施しつつモダンなデザインに



展示室には可動レール式のパネルを導入

和歌山癒しの電車紀行

和歌山県内を走るのんびり電車をシリーズで紹介します。

万葉の地を行く、のんびり列車

JR和歌山線は和歌山県と奈良県を結ぶローカル線。地元密着の交通機関として愛されています。



万葉トレインと呼ばれるラッピング電車は「奈良旅万葉ラッピング列車デザインコンテスト」で一般公募したものの。



高野口駅では情緒あるホームが印象的



「高野口駅」は明治34年、紀和鉄道倉敷として開業。駅舎は明治末期の改修から100年以上経てもなお現役で活躍しています。

紀北エリアの重要なアクセスとなるJR和歌山線は、和歌山市の「和歌山駅」から奈良県の「王寺駅」までを結ぶローカル線。沿線住民にとっては毎日利用する通勤・通学の大切な交通機関であり、途中、南海高野山線の接続駅になっている橋本駅もあります。週末は県内外の観光客を乗せてのんびり走ります。

沿線の駅はいずれも地域密着型。

かつらぎ町の中心駅「^{みょうじ}妙寺駅」には地元の高校から提供された座布団が置かれていたり、「^{すだ}隅田駅」は駅舎全体が地元の子どもたちの絵で埋め尽くされ、町の観光名所を案内しています。

ローカル線ならではの楽しみ方もいっぱい。今では見ることが少なくなったノスタルジックな印象の木造駅舎は「高野口駅」。雄大な紀の川を一望できるのは「^{にしきせだ}西笠田駅」。さらに注目はラッピ

ング電車の万葉トレイン。春夏秋冬とそれぞれの「万葉の四季彩」をデザインした観光列車が、情緒豊かに沿線を駆け抜けます。

JR西日本 和歌山線

- TEL.073-425-6091 (和歌山支社 平日9:00~17:45) (JR西日本和歌山支社営業課)
- 運行区間／和歌山駅～王寺駅

生活に広がる国際交流の輪 和歌山県国際交流センター

3月・4月のお知らせ

和歌山県国際交流センターでボランティア活動しませんか？

和歌山県国際交流センターでは、通訳・翻訳、ホームステイ、日本語、日本文化紹介・外国語文化紹介、情報収集提供で活動していただける方を募集しています。募集期間は平成25年3月31日までです。

ボランティア活動を希望される方は、当センターの「ボランティア活動調査票」に所定事項を記入の上、郵送または持参してください。登録料は無料です。ただし、登録説明会には必ず参加してください。なお、登録期間は4月1日から平成26年3月31日までとなります。

インターナショナルカフェ

今、中国で人気のある太極扇(たいきょくせん)と中国広場舞(ちゅうごくひろばまい)を楽しみながら、お茶やお菓子を囲んで様々な国の人と色々な言葉で交流をしていただきます。

日時:3月17日(日)13:30~15:30

場所:国際交流センター交流ラウンジ

定員:150名(申込不要・参加無料)

※ただし何か一品、食べ物か飲み物をお忘れなく。

平成25年度 前期日本語クラス開講のお知らせ

開催日:4月7日~9月8日の日曜日(全20回)(予定)

場所:和歌山県国際交流センター サークル室

内容: **レベル1** 13:00~14:30

あいうえお(ひらがな・カタカナ)からスタート。あいさつから簡単な会話を日本語でします。

レベル2 15:00~16:30

あいうえお(ひらがな・カタカナ)が全部わかります。簡単な会話や説明を日本語でします

日曜日 にほんごサロン 17:00~18:30

いろいろなテーマについて、日本語で話してみよう!日本語で日常会話ができる人のクラスです。受講を希望される方は参加申込みが必要です。



国際交流まつりでのボランティア活動の様子

〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛8F 和歌山県国際交流センター

TEL:073-435-5240 FAX:073-435-5243

■開館時間/午前10時~午後6時30分(金曜は午後9時まで) ■休館日/水曜日・祝日・年末年始

<http://www.wak-kokusai.jp/>

大好き 和歌山



「ジンタ懐かしシネマの夜～築地未来座物語～」は、演劇集団和歌山の自主公演として5月3日(祝)に和歌山県民文化会館小ホールで、再上演されます。なおキャストについては一部変更あり。一般の前売りは2000円、中・高校生は1000円(当日は各300円アップ)。

約半世紀にわたって演劇界をけん引 和歌山を舞台にした人情喜劇を再演

演劇集団和歌山

県内で活動するアマチュア劇団のリーダー的存在であり、約半世紀にわたって和歌山の演劇界をけん引し続ける「演劇集団和歌山」。創立は1970年、演劇基盤のまったくなかった和歌山市に演劇文化を広め、向上させるために結成されました。現在、劇団員は12名。公務員や教員、会社員、主婦などさまざまな人が集まり、公演に向け日々レッスンを重ねています。

脚本家で演出も手掛ける楠本幸男さんは「公演は年に1～2回。最近では和歌山を舞台にしたオリジナル作品の上演も多く、好評を得ています。地域に根付いた劇団として、常に和歌山らしい個性を出すのがコンセプトです」と。紀伊国の史実をもとにした作品「風吹にひびく唄」や「情無用なせけはいらぬ荒川太鼓あわかわのたいこ」には、地域の歴史や馴染

みのある和歌山弁が盛り込まれ、観客を引きつけました。

「今回の公演の練習は週3回、みっちり2時間半。3月の公演に向け、追い込みのまただ中です」。今回は楠本さん作「ジンタ懐かしシネマの夜～築地未来座物語～」を上演。2001年に和歌浦小劇場で上演された舞台の再演です。「12年経ったわれわれのさらなるパワーアップと、特別出演してくれる吉本芸人の“わんだーらんど”の出番を加えたりリニューアルバージョンでお届けします。ピアノやバイオリンの生演奏も入り、笑いあり音楽ありで繰り広げる人情喜劇です。お楽しみに!」と楠本さん。

物語は昭和6年、和歌山の活動写真館「築地未来座」が舞台。この時代、活動写真には音がなく、弁士が台詞を語り、楽団の生演奏が音楽をつ

けていました。そんな中、お話では弁士が借金取りから逃げてとんずら、楽士は若い娘と駆け落ち…築地未来座にはつぎつぎとトラブルが。やがてトーキー映画の導入で、弁士や楽団に不況の波が押し寄せていきます。

「厳しい時代でも、助け合い、笑いながら生きていく彼らの姿は、今だからこそ共感できるものだと思いますよ」と楠本さんは話します。



演劇集団和歌山 ジンタ懐かしシネマの夜 —築地未来座物語—

楠本幸男・作
山入桂吾・演出

- 日 時/3月31日(日)
開演午後2時(開場午後1時30分)
- 場 所/粉河ふるさとセンター大ホール
(紀の川市粉河580)
- 入場料金/前売 一般2,000円
学生(中・高生)1,000円
当日 一般2,300円、
学生(中・高生)1,300円
- 主催/和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団
- 共催/演劇集団和歌山
- 後援/和歌山県教育委員会
- 協力/紀の川市、紀の川市教育委員会
- お問い合わせ/(財)和歌山県文化振興財団
TEL.073-436-1331
演劇集団和歌山
TEL.073-445-4537(夜)

映画は、当初、音がなく、日本では弁士が語り、数人の小編成の楽団(ジンタ)の生演奏が音を添えていました。和歌山でもこの時期、電気館、帝国座、紀国座、弁天座などの活動写真館がありましたが、やがてトーキーの出現により、弁士や楽士たちは失業していきます……

ラジオ放送

演劇集団和歌山「ジンタ懐かしシネマの夜」 ～築地未来座物語～

公演をより楽しく観るための入門講座

公演の魅力をあらゆる角度からラジオ放送で紹介します。

- 放送日/3月8日(金)午後9時～午後10時
- 番組放送/WBS和歌山放送



前回公演より

※前号で紹介した、演劇集団和歌山「ジンタ懐かしシネマの夜」～築地未来座物語～で特別出演するのは、正しくは「わんだーらんど(よしもとクリエイティブエージェンシー)」です。

カルチャーインフォメーション

万葉館

☎073(446)5553

「万葉日本画展」

■後期:開催中～3月31日(日)
最終日は15:00まで

日本藝術院会員・清水達三画伯の生徒作品の展示です。万葉集に詠まれた花々や風景等を日本画で表現した、6号サイズの作品を展示します。



「つゆくさ」清水達三

「万葉の故地写真展」

■4月4日(木)～7月28日(日)
前期:4/4(木)～5/26(日)、後期:5/28(火)～7/28(日)
写真家・牧野貞之氏の作品の展示です。

和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「不老橋」下車徒歩約10分 ☑午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☎無料*但し年末年始12/29～1/3及び設備機器等の点検日を除く ☎入館無料 ☎

和歌山県立紀伊風土記の丘

☎073(471)6123

春期企画展「海の考古学－海人と古代豪族－」

■3月23日(土)～6月23日(日)

紀伊の海人が古代豪族とどのように関わったのか、考古資料を用いて説明します。



和歌山市岩橋1411 ☎JR和歌山駅東口から和歌山バス「紀伊風土記の丘」行き終点下車徒歩約5分 ☑午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで) ☎月曜(祝日の場合は次の平日) ☎一般190円、大学生90円 ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) ☎

和歌山県立自然博物館

☎073(483)1777

磯の生物観察会

■4月28日(日)11:00～14:00 雨天中止

潮のよくひく春の大潮は生物観察に最適です。広川町小浦の海岸で、エビ、カニ、魚やウミウシなど磯の生物を観察してみませんか？



- 開催場所: 広川町山本・小浦海岸
- 集合: 花王有田研修所グラウンド
- 募集対象: 小学生以上一般(小学4年生以下は保護者同伴)
- 定員: 60名 ●費用: 20円(傷害保険料)
- 用意するもの: 濡れてもよい履物(ビーチサンダル不可)、帽子、タオル、軍手、弁当、水筒、日焼け止め、採集道具など
- 参加申し込み方法: 往復はがきに行事名・参加希望者全員(同伴保護者含む)の住所・氏名(要ふりがな)・年齢・性別・電話番号を記入、または和歌山県電子申請システムより応募
- 申込み締切: 4月14日(日)必着 *応募多数の場合は抽選、1組1通の応募に限る

和歌山市船尾370-1 ☎JRきのくに線海南駅からバス「琴の浦」下車すぐ ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☎月曜(祝日の場合は次の平日) ☎一般460円 ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) ☎

和歌山県立博物館

☎073(436)8670

企画展「熊野水軍」

■開催中～3月3日(日)

鎌倉時代から戦国時代までの間、熊野地方には多くの武士がおり、強力な水軍として熊野衆とも呼ばれ、源平の合戦や南北朝間の争いなどにも大きく関わっていました。この企画展では、様々な資料から熊野で活躍した武士(水軍)の歴史をひも解きます。



役行者像(部分)中津川行者堂蔵

企画展

「文化財受難の時代－いかに守るか－」

■3月9日(土)～4月21日(日)

仏像などの盗難事件が多発している近年、地域で守り継いできた文化財が被害に遭わないためにどうすればよいのか、「文化財の魅力発見！」をキーワードに展示を通じ考えます。

和歌山市吹上1-4-14 ☎JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☎月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日)、年末年始(12/29～1/3) ☎一般280円、大学生170円 ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) ☎

和歌山県立近代美術館

☎073(436)8690

『謄写版の冒険 卓上印刷器からはじまったアート』

■開催中～3月24日(日)

昭和のはじめ、手軽な印刷術にすぎなかった謄写版によって芸術に目覚めた作家たちの作品を紹介。和歌山市で謄写印刷工房を営む傍ら版画の制作をつづけた清水武次郎、謄写版による創作版画の創始者である若山八十氏と、彼を中心に集まった「点の会」の作家たちの作品や資料、約250点を展示します。



若山八十氏(風)1975年、孔版・紙

和歌山市吹上1-4-14 ☎JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☎月曜(祝日の場合は次の平日) ☎一般500円、大学生300円 ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) ☎

和歌山県民文化会館ホール抽選会(予約開始日)のご案内

県民文化会館では、ホールの利用をご希望する皆様を対象に、抽選会を行っています。対象となる月の抽選会に参加いただき予約申し込みを行ってください。

なお、抽選会終了後は先着順の受付となりますので、あらかじめご了承ください。耐震化工事を機にリニューアルいたしましたので、是非、ご利用を賜りますようお願い申し上げます。

■抽選会の日程

大ホール	小ホール	抽選会日時
平成27年4月	平成26年4月	平成25年3月29日(金)午前9時

※会議室、展示室については、随時受付を行っています。

■抽選会実施場所/和歌山市広道20番地 第3田中ビル 1階会議室B (場所は、県民文化会館西隣(ホテルアパローム紀の国隣))



■予約受付・問い合わせ
(財)和歌山県文化振興財団
TEL.073-436-1331
FAX.073-436-1335

WACA-P

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行日】平成25年3月

【発行】和歌山県

【編集・問い合わせ】(財)和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)
☎073(436)1331 FAX 073(436)1335

【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp